

2025 つながるフェス

～富岡まるっと！宣伝プロジェクト～

Q. プロジェクトではどんなことを行うんですか？（メディア情報学科・2年生）



地域の方が叶えたい要望を伺い、地域の方と協力して町を盛り上げるための取り組みを行いました。（例：地域イベントへの参加、地域店舗の新商品開発等）

（人間心理学科・2022年度卒業生）



先輩達と一緒に日帰りで実習をしたりします。（社会マネジメント学科・1年生）



群馬県富岡市の魅力の発見・発信を目的に色々な活動をしています！例えば、現地に訪問してイベントのお手伝いをしたり街を見て回ったり、相生祭の物産展のお手伝いもさせていただきます。（社会マネジメント学科・2年生）



富岡市の魅力を現地の方と協力しながら発見し、それについて SNS などを使用した大学生らしい方法で発信しています！（管理栄養学科・2年生）



担当地域・団体と連携を取りながら、課題を見つけ学生ならではの方法でアプローチしていきます。私の場合は群馬県富岡市の NPO 法人と連携し、伝統食「おっきりこみ」をテーマに地域の PR 活動を行いました。主な活動は新レシピの考案と、「おっきリソーシャン」や相生祭での調理・提供、SNS での広報等です。（管理栄養学科・2024 年度卒業生）

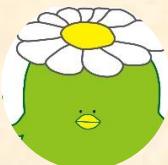
Q. このようなプロジェクトに参加したことがないため、1番最初に参加しやすいプロジェクトはありますか？（日本語日本文学科・1年生）



興味があるプロジェクトで良いと思います！私は美味しいものが食べたくてまた行ったことない地域の取り組みに参加したく富岡市のプロジェクトに參加しました。（人間心理学科・2022年度卒業生）



富岡まるっと活動は1番参加しやすいです。先輩達も優しいので、不安な人も話しやすいです。（社会マネジメント学科・1年生）



富岡まるっと！宣伝プロジェクトがおすすめです！入って間もないメンバーが多く皆んな初心者なので、初めての方も気楽に活動できると思います！（社会マネジメント学科・2年生）



他のプロジェクトについては詳しくないのですが、富岡まるっと！宣伝プロジェクトについては話し合いながら予定を組みますし、活動日は絶対集合ということないので、参加しやすいと思います！（管理栄養学科・2年生）



お試し（単発で参加できるイベントがある等）ができるプロジェクト、大学から近い地域を対象としたプロジェクト等でしょうか。それぞれのプロジェクトの内容を比較・検討し、御自身に合いそうなものを探してみてください。（管理栄養学科・2024年度卒業生）

Q. 1人で参加することに不安があるので、参加されている方はどのような方が多いですか？（日本語日本文学科・1年生）



1人の方も多いです！相女生はどのプロジェクトもそうだと思いますが比較的話しやすい雰囲気の方が多いのでプロジェクト活動を通して仲良くなることが

できました。（人間心理学科・2022年度卒業生）



優しい先輩方が多いです。（社会マネジメント学科・1年生）



富岡まるっと！宣伝プロジェクトのメンバーは4年生が1人・2年生が5人・1年生が1人なんですが、学科や性格はみんなバラバラですが楽しく活動しています！1人で加入してくれた人も多いので、先ずはプロジェクトの説明会などに行き、メンバーの雰囲気を知ってみるのがおすすめです！（社会マネジメント学科・2年生）



単独で参加されている方も多いですが、活動していくにつれて仲良くなっていくので、そこまで不安に思わなくても大丈夫です！（管理栄養学科・2年生）



地域貢献やボランティア活動、新しいことに興味がある学生の集まりなので、意欲的・積極的な性格の人が多い印象です。1人で参加する方は珍しくありません。活動を通じて友人関係を広げるつもりで気兼ねなくトライしてみてください。
(管理栄養学科・2024年度卒業生)

Q. 参加することのメリットとデメリットはありましたか？

(日本語日本文学科・1年生)



メリット：学生時代から先生以外の上世代の方との関わり方を学ぶことができる。自分が知らない世界や問題を見ることができ視野が広がる。就職活動で話せる内容が増える(私はめちゃくちゃ就職活動でそれはなに！？と触れていただけることが多かったです)。デメリット：自分たちが主体的に活動をしようと意識をしないと、活動が薄まってしまうことがある→部活などと違って強制性が薄いので人任せだと活動が減ってしまうかもです。(人間心理学科・2022年度卒業生)



私は食べることが好きで先輩方が、接客している姿を見て憧れて入りました。
(社会マネジメント学科・1年生)



メリットは、現地訪問や物産展での販売、商品開発などの滅多に経験できない事が沢山できることや、交流の幅が広がって新しい友達ができたりコミュニケーション能力が上がる事だと思います！デメリットはあまり感じていませんが、強いていうなら相生祭をお客さんとして楽しむ時間が減ることや、活動がある日は予定を入れられないところかと思います。（社会マネジメント学科・2年生）



メリットは、学生はもちろん富岡市の方と交流できることです。世代の違う方と話していると新たな気づきがたくさんあり、とても面白いです。デメリットは、時間を使うことです。もし今、勉強で手一杯なのであれば、プロジェクトへの参加は余裕がでてからの方がいいかもしれません。（管理栄養学科・2年生）



メリットはたくさんあります。PDCAサイクルの考え方方が身につく、多学科の学生や社会人と知り合い視野が広がる、ガクチ力に利用できる等。また、社会人になると時間やお金の制約が大きくなるため、学生のうちに何度も地域訪問できたのは貴重な経験でした。デメリットは強いて言うなら金銭等のわかりやすい報酬がないこと、活動内容が不安定（そのときのメンバーの人数や人間関係、活動の引き継ぎが上手くできているかどうかで活動の質や一人一人の負担が変わってきます）なことでしょうか。それも含めていい勉強になるので、興味があるならぜひトライしてほしいなと思います。（管理栄養学科・2024年度卒業生）

Q. 授業と被ってしまった場合、どうされていましたか？

（日本語日本文学科・1年生）



毎学期授業確定後に全員で空いてる時間を確認していました(当時)。会議に参加できない場合は事前にリーダーに相談をしておけば対策してくれると思います(議事録の用意や時間変更など)。（人間心理学科・2022年度卒業生）



授業優先していました。（社会マネジメント学科・1年生）



生）

授業優先で全く問題ないです！どのプロジェクトも基本は学業優先だと思いま
すし、自分の参加できる範囲で活動できます！（社会マネジメント学科・2年
生）



もちろん授業を優先しています！他のメンバーもいるので、そこは協力しなが
らといった感じです。（管理栄養学科・2年生）



私の場合は授業を優先して、ほかのメンバーに相談して代理を立てる等の対応

をしていました。理想は授業と被らないスケジュールで活動しているプロジェ
クトを選び、自分にできる範囲で活動時間や内容を調整することです。それも含めて

いい勉強になります。（管理栄養学科・2024年度卒業生）

Q. 大学在学中にプロジェクトに加入したいと考えています。現地での活動に特に興味がありますが、コスト面が心配です。加入したきっかけや経緯を教えてほしいです。
(人間心理学科・1年生)



大学生活でざっくり何かに挑戦したいと考えたときに一番美味しそうで行ったことない地域という意味で選びました。コスト面：基本的に地域活動は地域の方からの協力費や協働活動費等で大きな負担はなかったです。ただ活動費にも限度があるので行く回数が重なると一部自腹が必要になることもありました。（人間心理学科・2022年度卒業生）



私は食べることが好きで先輩方が、接客している姿を見て憧れて入りました。
(社会マネジメント学科・1年生)



現地訪問のコストは基本かかりません！お土産代は自己負担ですが、それ以外の交通費は大学が負担してくれますし、昼食代は現地の方が負担してくださる事が多いです！私が加入したきっかけは、プロジェクトの説明会に参加したことです。学生の中に色々なことを経験したいと思い、気になるプロジェクトの説明会には積極的に参加していました。そこで入りたい！と思ったプロジェクトに加入しています！（社会マネジメント学科・2年生）



コストに関しては、日々の活動ではほとんどかかりませんし、現地訪問時の交通費も大学の方から出していただけるので心配はいらないかと思います。加入了きっかけは、地域協働活動で仲良くなった方に紹介していただいたことです。それまでプロジェクトの存在を知りませんでしたが、お話を聞いてみて楽しそう！と思い、参加を決めました。（管理栄養学科・2年生）



プロジェクト活動に興味を持ったのは、コロナ禍で余暇が多く何か学びになるようなことをしてみたいと思ったからです。「おっきリンピック宣伝部（当時の名称）」は伝統食を取り扱っていたこと（管理栄養学科なので食に関心がありました）、オンライン上でも Zoom を使って積極的に活動しているところに惹かれて選びました。コスト面については大学に申請すれば交通費や宿泊費を工面してもらえますので、ぜひ現地でしかできない経験を積んでいただきたいです。詳細は連携教育推進課に相談してみてください。（管理栄養学科・2024 年度卒業生）

Q. プロジェクトに参加したことは就職活動に活かせますか？ (日本語日本文学科・1年生)



活かせます。ここまで地域協働活動に力を入れている大学は少ないため、私はいろんな企業で人事担当の方に触れていただくことができました。また外部の方とメールなどのやりとりが必要になるため学生のうちからビジネスマナーも身につけ始めることができます。相女に入学したのであれば何かしら活動をしていて損は

ないと思います。（人間心理学科・2022年度卒業生）



すごく活かせると思います！プロジェクトでの経験はとても貴重ですし、メンバーや現地の方との関わりの中でコミュニケーション能力も上げられるので良いことばかりです！ガクチ力に悩んでいる方はぜひ参加してみてほしいです。（社会マネジメント学科・2年生）



まだ就職活動が本格化していないので実際のことは分かりかねますが、様々な人と関わることになるため、コミュニケーション能力は上がると思います。
(管理栄養学科・2年生)



活かせます。「ガクチ力」として履歴書や面接で経験談を説明しました。そのためには参加するだけではなく、そこから得た学びや今後にどう活かしたいか

を言語化する必要があります。（管理栄養学科・2024年度卒業生）

Q. 学業、アルバイト、プロジェクトの両立が難しく、来年からは就活も始まるのでどのように時間配分をしていたか教えていただきたいです。（人間心理学科・2年生）



学業4割、アルバイト4割、プロジェクト2割くらいでプロジェクトはほんとに無理のない範囲でやっていました。基本は週1、1時間のMTG+その中で発生した課題のみ。学祭前やイベントの前は別途集まって準備をしたり、富岡市で何かイベントがある時なども数日なので、普段はアルバイトと学業が最優先でした。また就職活動中は週1の会議以外はスケジュールに合わせ無理なく参加していました。（気分転換も兼ねてイベントに参加するとかはあります！）（人間心理学科・2022年度卒業生）



私は、アルバイトを入れたりしたいのでなるべく木曜日は休みを入れています。（社会マネジメント学科・1年生）



自分の予定がある時は無理に参加しなくても良いと思います！プロジェクトの活動は強制じゃないので、私も自分の都合が合う時に参加しています。また、富岡まるっと！宣伝プロジェクトではメンバー全員の予定を考慮して活動しているので、大事な活動はみんなが集まれるお昼休みにする事が多いです！（社会マネジメント学科・2年生）



プロジェクトの活動は、富岡市のお祭りと相生祭を中心に行っているため、その時期以外はあまり忙しくなりません。（管理栄養学科・2年生）



まずは優先順位を検討しました。私の場合は学業と就活が第一、次にプロジェクト活動、その次がアルバイトでした（あとは睡眠時間も必ず確保していました）。順位が決まれば労力や時間をどう配分するべきかが見えてくると思います。キャパオーバーしているようなら優先度の低いものから見直しをかけていくことが大事です。（管理栄養学科・2024年度卒業生）

Q. プロジェクトメンバーを増やす為に行って良かったなと思う取り組みやイベントなどあれば教えてください。（英語文化コミュニケーション学科・3年生）



meetでの説明会は複数回実施しました。またInstagram、Twitterで相女の新入生をフォローして広報活動をしていました。コロナ禍だったので積極的な活動は難しかったのですが今であれば学食にチラシを配りに行ったり、試食会をしても良いなあと思います。（人間心理学科・2022年度卒業生）



説明会の効果が大きかったです。先日行った説明会では、新たに**4**人の学生さんが入ってくださいました！（社会マネジメント学科・2年生）



メンバー募集の説明会を行ったのですが、それを機に**4**人の新メンバーが参加してくれたので、説明会はかなり効果があったと思います。（管理栄養学科・2年生）



メンバーを増やせないまま卒業してしまったので、反面教師としての一意見です。募集説明会は年に数回、合同説明会等に乗っかる形で十分だと思います。それよりも現体制でできるプロジェクト活動を行い、活動実績を絶やさないことが大事です。私は周知が足りないのかと思い対面、オンライン、ハイブリッド等さまざまな形式で何度も説明会を開催しましたが、聞きに来てくださる学生さんは1名～数名で実質的な参加にもあまりつながりませんでした。今にして思えば、手段と目的が逆転していて本末転倒だったと反省しています。（管理栄養学科・2024年度卒業）

生)

Q. プロジェクトで話を進める際に連絡を行っても返信がなく、話が進まないため一人で考えることがありました。そのような経験や、どのように対処すれば良いか教えてください。（健康栄養学科・2年生）



返事をしやすい内容で質問をしてあげるのは大事だと思います。できる限り A か B で答えられるようにする、無理な場合は自分の意見という名の例を伝えてから考えてもらうことで返事をもらいやすかったです。また今の仕事でもこれはいきます。例：考えて！だと難しい→私は○○がいいと思うんだけど、○○ちゃんは何かいい意見ないかな？A と B で悩んでてどっちがいいと思う？（人間心理学科・2022 年度卒業生）



大人の人に相談し、早めに返信してもらえるようにすれば良いと思います。
(社会マネジメント学科・1年生)



プロジェクトでの事ではないですが、こうした経験は良くあります。対処法としては、大事な話は昼休みなどに対面で集まって行ったり、人を指定して頼んだりするのが良いのではないかと思います。(社会マネジメント学科・2年生)



心中お察しします。チームワークあってこそそのプロジェクト活動なので、1人で抱え込まないような体制を作っていくましょう。まずは話し合いが進まない原因を検討してください。あなたが実行したい、話し合いたいと思っていることはほかのメンバーに正確に伝わっていますか？話し合いの内容は議事録に残し、いつでも見返せるようにしてありますか？ほかのメンバーの意見も汲み取られていますか？（「本当はこういうことがしたいけどこの流れでは言えない」「プロジェクトの内容が自分に合わなくて身を引きたいと思っている」など、いろいろなケースがあります）原因が

わかれば対処法も見えてくると思います。LINE等の返信がないなら対面で話し合ってみる、言いたいことがありそうな人がいればその人と一対一で喋ってみる、等。それでも上手くいかなければ連携教育推進課や担当地域・団体の方々に相談してもよいと思います。がんばってください。（管理栄養学科・2024年度卒業生）

Q. プロジェクトの経験は社会人になった際、どのように活かされていますか。（生活デザイン学科・3年生）



ビジネスマナーの基礎が身につくので目上の方と話すときの心構えができるた
なと思いました。また、当時これがいい！あれがいい！と意見を出した経験は
社会人でも意見を出さないといけない場で役立つと思います。（メンバーがどういう意
見をくれたら嬉しかったか、会議中こういうことをしてくれる人がいて嬉しかった等
を覚えてるので）（人間心理学科・2022年度卒業生）



プロジェクトに活動しておくことで社会に役立つと思います。（社会マネジメント学科・1年生）



まだ学生ではありますが、プロジェクトの活動を通して大学や現地の方との関わり方やメールの送り方など社会に出て役に立つ知識が得られていると思います。こうした経験は、社会人になっても業務や社内の人とのやり取りで活かせると考えています。（社会マネジメント学科・2年生）



高齢者施設で管理栄養士として勤務しています。食材費の高騰等で給食の内容に制限がどうしても出てくる状況ですが、どうしたら利用者さんに喜んでもらえるか？という視点を忘れないように日々給食会社と交渉しています。食に関わるプロジェクトで富岡市の皆さんやお客様の反応を見ながら新メニューを考案・改良してきたことが活かされていると思います。（管理栄養学科・2024年度卒業生）

Q. 学業とアルバイトに加えプロジェクトのスケジュールがぎりぎりで両立が厳しいと感じたのですが、どのように調整しましたか？（健康栄養学科・2年生）



一人で抱え込まないで欲しいです。周りに頼ってください！またもし既にプロジェクト全員で回してて難しい場合はやるべきことを細分化して優先度が高いものからやっていってました。細分化すると思ったより一つのタスクが軽くなったり、手伝えないとと思っていた領域が手伝えたりすると思います。（人間心理学科・2022年度卒業生）



行ける日に行くようにしていて、行けない日は必ず先輩にLINEをしていました。（社会マネジメント学科・1年生）



私が加入しているプロジェクトはそこまで忙しくないのですが、両立が難しい場合は優先順位を考えて選んでいます。（社会マネジメント学科・2年生）



私の場合ですが、プロジェクトはあくまで余裕があるときにやることだと考えています。他のメンバーに対する申し訳なさや、もっと頑張りたいのにという気持ちはあるかもしれません、任せるということも選択肢に入れていいのではないでしょうか。（管理栄養学科・2年生）



優先順位の検討から始めてください。順位が決まれば労力や時間をどう配分するべきかが見えてくると思います。プロジェクトのスケジュールがギリギリなのであれば、ほかのメンバーと仕事を分担する、リスケを試みる、活動内容を見直す（現状に合わせた内容に変えていく）ことが必要かと思います。（管理栄養学科・2024年度卒業生）